



上:サヨリ幼魚 下:クルマサヨリ 比較してサヨリは眼が大きく下顎の槍が短い。北潟湖産

サヨリ科 サヨリ属

【全長】35cm

サヨリ

学名: *Hyporhamphus sajori*



ヤリ状に伸びた下アゴの先端は赤い。

分布域

日本全国に分布する。

生息域

沿岸域～内湾の表層部に生息し、幼魚は汽水域に侵入する。

体形は細長く、下顎は著しく長く槍状に突出する。クルマサヨリと似るが、生時は下顎の先端が鮮やかな紅色で、死ぬと徐々に色が消える。食性は動物食性で表層部に漂う小型の甲殻類や動物プランクトンを食べる。主に沿岸部や内湾に生息し幼魚は河口部(汽水域)にも侵入する。群で泳ぎ危険を感じると水面を飛び跳ねる。産卵期は春～初夏。沿岸部の藻場で産卵する。釣りの対象魚としても人気がある。

飼育は経験不足だが難しい。特に擦れに弱く出来るだけ触らないよう配慮したい。水槽の壁面にぶつかり死ぬことも多い。飼育は海水を用い大きめの水槽で飼育し、多種との混泳も避けた方が無難。

在来種

周縁魚

※ 秋～初冬に20cm前後の幼魚が漁港や汽水湖の岸近くで見られる。成長すると岸から離れる。釣りの対象としても人気があり、天ぷらなどにして食べられる。